試合番号 102

開催日 2019/01/12

第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会女子 総合スポーツセンター 会場:武蔵野の森

観客数: 5,064 開始時間: 12:45 終了時間: 14:11 試合時間: 01:26 主審: 桧山 佑介 副審: 弘中 秀治 第1セット 25 15 [00:22] 金蘭会高等学校 八王子実践高等学校 第2セット 25 15 [00:24] 第3セット 28 26 監督:池条義則 [00:34] 監督: 貫井 直輝 コーチ: 林 寛二 コーチ:木嶋 洸佑 第4セット [1 通 算: - 勝 第5セット 通 算: - 勝 **ポイント**: **ポイント**: 【】内はセット時間 ポイント ポイント

<監督コメント>

	_		()	内	けな	>什:	選手			_		
	宮部		秋重	F 3	ر د.	10.	川崎			黒須		
25	()	()	ー 第 1 セ	()) (森田) 住田) ()			
	曽我		中澤				籾井			住田		15
	(児玉(奈))	(西崎)		())	
	中川		西川(有))			大川			榊原		
	()	()		()	(鶴野)	
リベロ:	水杉					IJ.	ベロ: ß	可部	(個	憂)		
	宮部		秋重			l	川崎			黒須		
25)	(第	()	(森田)	
	曽我	,	中澤		+7	١,	籾井	,	,	/ ^{住田} 、 15		
	-)	(西崎		ット	(+111		(お店)	
	中川	١	西川(有)	١	,	(大川		,	榊原 鶴野)	
 Jベロ :	<u> </u>						 ベロ: ß		_		,	
	宮部		秋重			ŕ	大川	. 1 111		~ / 籾井		
	(西崎)	()	3 +	()	()	
28	曽我		中澤				榊原			川崎		26
۷٥	()	(()	()	20
	中川		西川(有)		7		住田			黒須		
	()	(児玉(奈))		(_	森田)	
ノベロ:						IJź	<□: В	可部	(化	曼) ————		
	()	()	ArA-	()	()	
					弟 4							
	()	()	第4セッ	()	()	
	,				+							
	(((()	
ノベロ:	1					IJ /	ベロ:		_		_	
	()	()	笋	()	()	
					第5セッ-							
	()	()	ツト	()	()	
	(١	()		()	()	
						(1)	

<要約レポート>

リベロ:

リベロ:

準決勝第2試合は、久しぶりの日本一を目指す八王子実践と、前回大会優勝の金蘭会が激突した。 第1セット、初めに流れをつかんだのは金蘭会・宮部のジャンプサーブで八王子実践のレシーブを崩すと、曽我のブロード、西川のブロック で4連続得点をあげ、一気に大差をつけリードする。対する八王子実践は住田、黒須、大川のスパイクで追いかけるが、点差を埋めることがで きず、金蘭会が10点差をつけてセットを取った。 第2セットも、序盤から金蘭会が流れをつかんだ。西川のスパイクを皮切りに、宮部のスパイクや曽我のブロックが出て、一気に差をつける 。八王子よ今韓会が17周1ま

のセットも金蘭会が圧倒した

のピットで、最近に関した。 第3セット、後がない八王子実践はポジションの変更を行い臨むと、功を奏し序盤の一進一退の攻防から、中盤、住田を中心にアタッカー陣 が奮起、21-16とリードする。ここで金蘭会も今年度インターハイ、国体準優勝の実力をみせ、宮部にトスを集め、一気に主導権を奪い返し、 6連続得点で逆転する。負けられない八王子実践は住田が躍動し、金蘭会にマッチポイントをに取られても果敢にスパイクを決め、デュースに もつれこむ。しかし、最後は金蘭会・西川がエースの貫禄をみせるスパイクを決めて、ストレートで勝利した。 金蘭会は西川、宮部を中心に高い攻撃力を見せつけ、八王子実践は各セットとも一歩及ばず、惜敗した。

作成者: 戸塚 旭(東京)